

平成27年度予算
について

自民クラブ
印南 久雄 議員



新庁舎建設
について

質問

合併特例債事業について伺います。

答弁(市長)平成27年度予算に計上した合併特例債は、道整備交付

金事業債や大田原西地区都市再生整備計画事業債などの土木債であり、前年度と比較し3億4060万円増の12億2870万円を見込んでいます。その他、大田原小学校及び紫塚小学校の木造校舎改築事業に学校教育施設等整備事業債6億7740万円、消防コミュニティセンター等の消防施設

質問

新庁舎建設について現在までの経過及び建設方法と時期、また市長の考え方について伺います。

答弁(市長)震災直後に市民を交えた検討委員会を設置し、新庁舎を建設することが望ましいという答申を平成23年9月にいただきました。その答申内容を踏まえて、基本構想を策定しましたが、当時は合併特例債が使えないという状況であり、財源の目的が立たないことから、財政負担の平準化等が図れるPFI手法に着目し、国の支援を

整備事業に緊急防災・減災事業債1億3590万円、黒羽中学校の屋内温水プール天井改修事業に全国防災事業債4170万円などであります。

なお、合併特例債の発行期限については、平成27年度まででしたが、東日本大震災後に被害を受けた合併市町村に係る地方債の特例に関する法律が成立し、発行期間を最大10年間延長できることになったことから、今後の合併特例債の発行に関しては、一般財源への負担を抑えるためにも、新庁舎建

設の財源として、優先的に活用していきたいと考えています。

受けて検討を行いました。これにより、検討を進めてきたものの、建設工事費の高騰等のため、庁舎建設を見合わせていましたが、行政サービスの向上を図るため、この度新庁舎建設を進める判断をしました。

今後、事業費や財源等を含め事業着手に必要となる事項を精査していきます。また、建設方法については、実施設計と工事を併せて発注するというデザイン・ビルドと呼ばれる方法を中心に検討したいと考えています。庁舎完成時期については、平成31年度を目標にできるだ



黒羽中学校温水プール



日本庁舎跡地

け早い完成を目指していきます。